

NEWS RELEASE

報道関係各位

2013年12月12日

株式会社KADOKAWA

アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー

横浜マリノス社長が『企業再生』の極意を説く

アスキークラウド・イノベーションコンファレンス

**『成長、発展、再生——
事業革新の戦略と視点、そしてクラウド』
～Do Change the game with Cloud～****2014年1月23日(木)13時30分より TEPIAホールにて開催**

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:佐藤辰男、ブランドカンパニー長:塚田正晃、以下アスキー・メディアワークス)は、クラウドビジネス誌『アスキークラウド』が主催する「アスキークラウド・イノベーションコンファレンス」を、2014年1月23日(木)13時30分より東京・青山のTEPIAホールにて開催いたします。テーマは「成長、発展、再生——事業革新の戦略と視点、そしてクラウド」です。

変化の時代においては、イノベティブな戦略と戦術、そして革新テクノロジーを駆使すれば、あらゆる業種業態の企業／組織が、新たな成長、発展、あるいは再生を成すことが可能です。本コンファレンスでは、その可能性を追求しながら、事業の変革を成功へと導く道筋とハウツーを、さまざまな角度から提示します。

講演では、日産自動車のゴーン改革、横浜マリノスの改革を導いてきた横浜マリノス代表取締役社長・嘉悦 朗(かえつ あきら)氏が、実際に行ってきた改革スキームを元に企業再生の要諦を語ります。また、電通総研の奥 律哉(おく りつや)氏が、企業はオーディエンスに対しどのようにビジネス戦略をたてていけばよいか、電通総研の調査データを元にそのヒントを探ります。

■コンファレンス概要

- | | |
|---------|---|
| 【名称】 | アスキークラウド・イノベーションコンファレンス |
| 【テーマ】 | 成長、発展、再生——事業革新の戦略と視点、そしてクラウド
～Do Change the game with Cloud～ |
| 【開催日時】 | 2014年1月23日(木) 13時開場、13時30分開始 (17時15分終了予定) |
| 【会場】 | TEPIAホール
(東京都港区北青山2-8-44) |
| 【アクセス】 | 東京メトロ銀座線「外苑前駅」より徒歩4分
JR「千駄ヶ谷駅」または「信濃町駅」より徒歩14分
都営大江戸線「国立競技場駅」より徒歩11分、「青山一丁目駅」から徒歩9分 |
| 【定員】 | 150名(お申込み定員に達し次第締め切らせていただきます) |
| 【参加費】 | 無料 |
| 【主催】 | アスキークラウド編集部、オープンラボ |
| 【協賛】 | 日本マイクロソフト 日本アイ・ビー・エム |
| 【申込URL】 | http://opnlabcloud0123.peatix.com/ |
| 【登壇者】 | 嘉悦 朗(株式会社横浜マリノス 代表取締役社長)
奥 律哉(株式会社電通 電通総研 研究主席兼メディアイノベーション研究部長)
その他 |

【タイムスケジュール】

1	主催者あいさつ アスキークラウド編集長 中野克平	5分
2	基調講演「日産のV字回復と横浜マリノスの再生を支える改革スキーム」 横浜マリノス株式会社 代表取締役社長 嘉悦 朗 [講演概要] 景気回復の兆しはあるものの、消費税増税、エネルギーコストの増大など不安定要素もあるなかで、いかにして企業の改革を進めていけばいいか。日産自動車のゴーン改革、横浜マリノスの改革を導いてきた横浜マリノス社長嘉悦朗氏が、実際に行ってきた改革スキームを元に、企業再生の要諦を語ります。	50分
～ 休憩 ～		5分
3	クラウドとデバイスで革新！ 新たな発想と技術でビジネスを成長させた戦略と戦術！ 日本交通株式会社 [講演概要] 日本交通／日交データサービスが提供する「全国タクシー配車」サービス。時代の流れと顧客ニーズの変化をいち早く把握し、クラウドとデバイスをフル活用した新たなビジネスモデルにてそのビジネスを変革、成長させています。そのビジョンや戦略・戦術を余す所なくお届けします。	50分
～ 休憩 ～		10分
4	「競争激化！ 生き残りをかけ、コスト削減と差別化サービスをIBMクラウドで実現！」 あなたの会社の“明日は、どっちだ！” 株式会社C-UNIT SQUARE、エフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社 [講演概要] 「小でも大に勝てる」——1人の若者が、想起したアイデアで、時価総額10兆円の企業がいきなり現れる。それがクラウドのパワーです。そして生き残れるのは変化に対応できる企業だけです。本講演では、IBMの新しいクラウド「SoftLayer」が持つ可能性をどうビジネスに生かすか、変化に対応してどのように差別化するかを「クラウドによる変革」の実践者が語ります。	50分
～ 休憩 ～		5分
5	オーディエンスから見たビジネスのヒント 株式会社電通 電通総研 研究主席兼メディアイノベーション研究部長 奥 律哉 [講演概要] 世代ごとにかわるメディアや嗜好との関わり方。単純にF1層といえども「今」と「10年後」では生活や嗜好、スマホやSNSの使い方が異なっていく中で、企業はどのようにオーディエンスとコミュニケーションをとり、ビジネス戦略をたてていけばよいのか。電通総研の調査データをもとに、そのヒントを探ります。	50分

■『アスキークラウド』について



↑ 『アスキークラウド』1月号表紙
発売日：2013年11月22日（金）

誌名:	アスキークラウド
発行形態:	雑誌／毎月24日発売
定価:	650円(税込)
判型:	A4変型判
ページ数:	80ページ
発行:	株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス
編集主幹:	角川 歴彦(KADOKAWA取締役会長)
編集長:	中野 克平(アスキー・メディアワークス)
URL:	http://ascii.jp/cloud/

<ご参考>

■アスキークラウド・イノベーションコンファレンスとは

「アスキークラウド・イノベーションコンファレンス」は、野望はあってもアイデアがない。頭数は多いがキーマンはいない。そんな現状を憂うビジネスパーソンのために、テクノロジーとビジネスの接点を探り、今後20年を生き残るためのビジネスプランをともに考えるコンファレンスです。スピーカーには『アスキークラウド』誌面に登場する各方面の第一人者を迎え、イノベーションを体験し、新規事業を担う本物のビジネスパーソンが交流できる場を提供いたします。

■アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーとは

アスキー・メディアワークスなど事業会社8社が、KADOKAWA合併後もそれぞれのブランドのもとで自由に事業を展開、発展させていくための新しい組織概念が『ブランドカンパニー』です。

アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーは、「電撃」「アスキー」「魔法のいんど」の3つのブランドを軸に、エンターテインメント分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

●KADOKAWAオフィシャルサイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>

●アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー公式サイト: <http://asciimw.jp/>

※2013年10月1日、株式会社アスキー・メディアワークスは株式会社KADOKAWAと合併しました。

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー
事業推進部

TEL:03-5216-8123 FAX:03-5216-8124 E-mail: plan-pr@ml.asciimw.jp